

H369.5

5.8 (4)

日语注释文选

4

北 京 出 版 社

日语注释文选

• 第四辑 •

本社编

秦明吾等 注释

北京出版社出版

(北京崇文门外东兴隆街51号)

新华书店北京发行所发行

北京印刷一厂印刷

787×1092毫米 32开本 3.275印张 68,000字

1981年9月第1版 1981年9月第1次印刷

印数1—45,200

书号: 9071.64 定价: 0.28元

目 录

一、弟のやけど（弟弟的烫伤——附参考译文）	1
二、パン（面包）	14
三、自転車のくふう（自行车的发明）	18
四、牧野富太郎（牧野富太郎）	27
五、微生物（微生物——附参考译文）	36
六、水産業（水产业）	43
七、外来語と日本文化（外来语和日本文化）	49
八、木の冬越し（树木过冬——附参考译文）	60
九、ジェームス・ワット（詹姆士·瓦特——附参考译文）	69
十、鈴木さんの一日——ある東京人の生活（铃木的一天——一个东京人的生活）	80

弟のおとうと のやけど

日吉神社のお祭り①の朝のことである。とてもいい天気だった②。弟は、ぬいぐるみの犬と遊んでいた。母はみそしる③を作っていた。

七時ごろ、母が、

「ご飯よ。」

と言った。わたしは、炊飯器④を取りに行つた⑤。そして、炊飯器をゆかに置こうとして、弟に、

「のいて⑥。」

と言つた。

弟は後ろへ下がろうとした。そのとき、足元にあつたみそしるのなべのふちをふんでひっくり返し⑦、足に大やけどをしてしまった⑧のである。

「母ちゃん、いたいよう。」

弟は悲鳴をあげ⑨、なきわめいた⑩。思いがけない出来事に⑪、わたしは、ぼんやりと立ちつくしていた。父に言われて⑫、わたしは石川薬局に走った。が⑬、やけどの薬はなかった。とてもくやしかった。

弟は、母におぶさって近くの医院に行った。わたしは、なみだが止まらなかった。食たくの上に、みそしるが三ばい⑭置いてあった⑮。それを見ると⑯、自分の責任が感じられて⑰、むねがつまった。

学校に行っても⑱、落ち着かなかった。弟のやけどのことも心配だった⑲し、わたしのために家族がお祭りに行けなくなったことも悲しかった。みんな、自分の責任なのだ。

学校の帰りは、不安でむねがいっぱいだった⑳。

「弟は、帰っているかな㉑。帰ってないかもしれない㉒。」

わたしは、家の戸口で㉓、思わず立ちすくんだ。戸を開けるのがこわかった。でも㉔思い切って、

「ただいま㉕。」

と言って、戸を開けた。すると㉖、

「お帰り。」

と、弟の声^{こゑ}がはね返^{かへ}ってきた。暗^{くら}かったわたしの心^{こころ}が、一度^{いちど}に②⑦ぱっと明^{あか}るくなつた。

「洋ちゃん。」

わたしは、思わずさげんだ。弟は、足を包帯^{ほうたい}で包^{つつ}んでいた。

「ごめんね②⑧。」

と言うと、弟はこくりと②⑨うなずいた。心^{こころ}がとてもすっきりした。

しかし、弟は、遠^{とお}くの病院^{びやういん}に入^い院^{にゅういん}しなければならなかった。その準備^{じゆんび}のために、一時^{いちじ}帰^{かへ}っているのだった。再^{ふた}びわたしの心^{こころ}は暗^{くら}くなった。

母のいない生活^{せいかつ}が始^{はじ}まった。わたしにとって、母代^{ははしろ}わり③⑩の仕事^{しごと}は大変^{たいへん}だった。でも、弟の帰^{かへ}ってくる日^ひを楽し^{たの}しみにして③⑪、母の留守^{るす}の間^{あいだ}、父と交代^{こうたい}③⑫でがんばった。何日^{なんにち}かして③⑬、父あて③⑭に母から便^{たよ}りがとどいた。弟のやけどは、順調^{じゆんちょう}に回復^{かいふく}しているということだった③⑮。

「洋ちゃん、がんばってね③⑯。」

わたしは、いのるような気持^{きもち}で独^{ひと}り言^{こと}を言った。

十日ほどして、わたしは妹を連れて、弟を見まいに病院へ行つた㉔。とちゅうで自動車によいそうになったが㉕、がまんした。

病院に着いた。弟は、やけどをした足で、ちょこちょこ歩いてゐた。わたしは、元氣な弟を見て、ほっとした。

その日は、母と買い物に行ったり、弟と遊んだりした。夕方になつても、帰りたくなかつた。でも、もう帰らなければならなくなつた。弟と母は、げん闘まで見送りに来て、手をふつた。

再び大変な生活にもどつた。母のいない日々は、母の苦労をわたしに教へてくれた。すい事、せんたく、そうじ、みんな大変な仕事である。母が帰つてきても、わたしは手伝つてあげなければ㉖と、しみじみと考えさせられた㉗。

三週間ほど入院していた弟が、ようやく退院した。家に帰つても、母は、熱心に弟の世話をしていた。わたしも何かしなければと思つたが、わたしには何もできなかった㉘。やけどがすっかり治る日をいのるだけだった。

「洋ちゃん、ごめんね。」

とあやまつたところは㉙、弟のやけどはゆめであつてくれ㉚と思つた。が、今は、あの

ときの気持ちとはちがう。

「洋ちゃん、治ってよかったね④。」

と言える日が、一日も早く来るように願っている。

(小学新国語五年上による)

注 释

① 「お祭り」：祭祀神的活动或仪式，类似中国的庙会。在日本很盛行这种活动。

② 第一个句子的主语是「これは」，省略了。第二个句子的主语是「その日は」，也省略了。日语中省略主语的現象很常見，译成汉语时，应视情况加以补充。

③ 「みそしる（味噌汁）」：大酱汤。一种日本式菜汤，是先用小鱼或海带等熬汤，再加进蔬菜、豆腐、黄酱等作成的。常在吃米饭时食用。

④ 「炊飯器」：专门用于做米饭的锅。

⑤ 「炊飯器を取りに行った」：去端饭锅。当来、去的目的是一种行为时，常使用「动词连用形＋に行く（来る）」这样的句型。要注意这种用法只限于与来、去有关的趋向动词。如：「見に帰える」（回去看）。

「あそびに出る」（出去玩）。

⑥ 「のいて」：动词「退く（のく）」（自五）的连用形（い音变）加「て」，命令语气的「躲开」。「のいて」是介于「のく」的命令形「のけ」和「のいてください」之间的一种表达命令的说法，语气比「のけ」缓和，比「のいてください」缓慢。

⑦

这句话的直译是：踩了脚边的酱油锅的锅沿而把锅弄翻了。

⑧

「足に大やけどをしてしまった」，动词「しもう」原意为做完、光了。接在其它动词后边作补助动词用时，表示一个动作或行为引起的结果，状态不能再恢复原状。如：「ゆうべの大あらしで花がみな倒れてしまった。」（因昨晚的暴风雨，花都倒了。）「やけど」（名、自サ）烧伤、烫伤。如：「手にやけど（を）する」（把手烫伤了）。

⑨

「悲鳴をあげる」，因害怕、痛苦而叫喊。「あげる」（他、下一），放（声）、发（声）。如：「歓声をあげる」（发出欢呼声）。

⑩

「なきわめいた」是「なきわめく」的过去时。这个词是由「泣く」（なく）的连用形＋「わめく」构成的复合动词。「泣く」（自五），哭泣。「わめく」（自五），叫、喊。这两个词复合在一起的意思是哭喊。

⑪

「出来事に」，「に」在这里表示原因，相当于「ために」。「出来事」（名），偶然发生的变故。

⑫

「父に言われる」，「言われる」是「言う」的未然形＋被动助动词「れる」构成的被动式。这种场合要以动作的发动者作补语，用「に」或「から」来表示。

⑬

「が」是接续助词，有时也可以独立地放在句首起接续词的作用。相当于「しかし」，「けれども」。如：「君の意見に反対はしないが、賛成もできない」（我不反对你的意见，但是也不能赞成）。

⑭

「三ばい（杯）」，三碗。「杯（はい）」是数量词，用于盛水，盛饭等器皿的数法。如：「ご飯を六杯も食べた」（吃了六碗饭）。「ビールを一杯ください」（请给我一杯啤酒）。杯的读法是，1、6、8、10、百后读「ばい」，3后读「はい」，其它数字后读「はい」。

⑮

「置いてあった」是「置く」的存续态，这种表示存续状态的句型只用于他动词。（自动词的存续态和进行态一样）。一般存续态的句子不能带宾语，要以存在的事物作主语。因为这种句子的含义只在于叙述由某种行为或动作遗留下来的状态，而不涉及造成这种状态的施事者。如：「山に木が植えてある」（山上种着

树)。

- ⑬ 「それを見ると」：「それ」指桌上放着的酱汤。接续助词「と」在这里表示上下两个动作的发生接续很紧。「と」前边的分句表示条件，可译成「一……就……」：「立刻就」「随即」。如：「手紙を受取ると出立した」(接到信就动身了)。

- ⑭ 「感じられる」的「られる」是自发助动词，表示自发的、不由自己的行为。可译成「不由得」「情不自禁」等。如：「時時母のことが思い出される」(常常情不自禁地想起母亲)。但并不是一般动词都能这样用，这种用法只限于「笑う」「泣く」「悩ぶ」「感じる」等几个和感情直接有关的动词。

- ⑮ 「连用形+ても」表示上下句之间的逆态接续关系，可译成「即使……也」「尽管……也」「还是……」。

- ⑯ 「心配」(名、形动、自他サ)，这里的「心配だった」是形动词的用法。「心配だ(です、である)」这种叙述方式是表达说话人自己的感情和心里状态的，只能用于第一人称，如果是第二、三人称，要用「心配する」。如：「試験の結果が心配だ」(我担心考试的结果)。「彼は試験の結果を心配する」(他担心考试的结果)。日语这种用形动词、名词表达思想活动的表现形式在译成汉语时，仍要译成动词。

- ⑰ 「むねがいっぱいだ」：心里满满的。如：「よろこびでむねがいっぱいだ」(满心欢喜)。

- ⑱ 「弟は帰っているかな」：终助词「か」后接「な」带有种种不同的语气，这里是一种踌躇不决、不肯定的语气。如：「向こうにいるものは山田君かな」(那边站着的是山田吧)。「帰っている」在这里是用现在进行态表示动作完成后遗留下来的状态，不表示动作正在进行。这种用法除表现存在的状态外，还可以表示经历、经验等。如：「昨年彼はヨーロッパに行っている」(去年他在欧洲)。「彼は北京大学を卒業している」(他是北京大学毕业)。「すでにその本を買っている」(那本书已经买到了)。

- ⑲ 「かもしれない」：词组，说不定、也许是。助词「か」和「も」的重叠表示不肯定、猜测。「な」是感叹助词，放在用言终止形后加重语气。此句中的「帰ってない」应为「帰っていない」，是口语中的省略说

法。

㉔「で」在这里表示动作的场所。因为文中说，走到门口停下来，这是个动作，并不是静止不动地站在门口，所以不用「に」。

㉕「でも」是接续词，放在句首表示逆态条件的接续，可译成「尽管如此」。「思い切って」（副词），下决心，毅然。

㉖「ただいま」是「ただいま帰りました」之略，这是从外边归来的人首先说的打招呼的话。下面的「お帰り」是「お帰りなさい」之略，是家里人的回答。

㉗「すると」是接续词，「する」指上文中的动作或状态，「と」表示以此为既定条件，引发下面的动作或状态，可译成「于是就……」，「这样一来就……」。

㉘「一度に」，副词，一下子，同时。

㉙「ごめん」是「ごめんなさい」之略，意为对不起，请原谅。这种形式多用于关系亲密的人之间或上对下之间。如：「ごめん、どうかゆるして」（对不起，请原谅）。「ごめん」后边加语气助词「ね」，带有征求对方同意的语气。另外，要注意「ごめん（或ごめんなさい）」和「ごめんください」的区别，「ごめんください」用在向别人打听事情时，是劳驾、借光的意思。如：「ごめんください、この辺にバスの停留所はありませんか」（劳驾，这附近有汽车站吗？）在去别人家里时，是未进门前的同话，「在家吗？」

㉚「こくりと」，副词，用来形容孩子点头时既认真又诚恳的样子。形容大人用力点头时，常用「大きくうなずく」。

㉛「代わり」接在名词、代词后边表示代替的意思。如：「皮の代わりにビニールが使われている」（使用乙烯代替皮革）。

㉜「楽しみにする」可看成是一个动词。期望、希望。如：「わたしは日本の友人と再会できるのを楽しみにし

てきたんです」(我一直在期待着和日本朋友再见面)。

② 「交代」(名、自サ)、交替、轮流。

③ 「何日かして」、「か」是副助词，接在疑问词之后表示不定的意思。表示时间的数量词+「する」表示时间的经过。如：「二三日して、返事が来た」(过了两三天，来了回信)。

④ 「宛(あて)」接在体言后边表示寄、送、给的对象。

⑤ 「……ということだ(です、である)」等于「そうだ」，表示传闻，可译成「听说」「据说」。在叙述不是自己的亲身经历，而是从其它途径知道的事情时，常用这种形式。本文是据信里说。

⑥ 「がんばって(ね)」，鼓励别人要加油干，在这里是鼓励弟弟好好治伤。「がんばって」是由「がんばる」变来的，其含义参见⑥。

⑦ 「見まいに病院へ行った」中的「に」表示去的目的，「へ」表示去的方向。

⑧ 「自動車によう(酔う)」，晕车。「动词连用形+そうになる」表示动作将要发生。「自動車によいそうになった」是快要晕车了。如：「雨が降りそうになった」(快要下雨了)。

⑨ 「手伝ってあげなければ」手伝ってあげなければならない，必须(或应该)给与帮助。「あげる」作为补助动词接在动词连用形+「て」的后面时，表示给别人进行某种行为。如：「買ってあげる」等于给你(他)买。用这个补助动词时，被给予的人一定是第二或第三人称，不用于第一人称。一般以给予者作主语，以「に」表示被给予者。如：「あの本は友だちにかけてあげた」(那本书借给朋友了)。

⑩ 「考えさせられる」是「考える」的使役态「考えさせる」的未然形再加被动词「られる」构成的。这样形式表示自动的或被迫的行为。如：「自己の行為を反省させられる」(被迫反省自己的行为)。这里的「考えさせられる」表示自发的行为。

⑪ 「私には何もできなかった」中的「に」是限定在它后边出现的动作或状态的范围的，意思是「对……来

说」。所以，「に」在这里也可换成「にとつて」。提示助词「は」与「に」接叠表示强调。如：「その問題はあなたにはわかって、私にはわからない」（这个问题就是你明白，我也不明白。这个问题对你来说即使明白，对我来说也不清楚。）

④③ 「あやまったころ」：指上次道歉的时候。

④④ 「ゆめであつてくれ」ゆめであつてほしい。「くれ」是「くれる」的命令形，「くれる」作补助动词接在其它动词后面时，是「给我（们）」的意思。当指定助动词「である」接「くれる」变成「であつてくれ」时，只表示愿望，与「てほしい」的意思相同。这种形式是向对方表示希望，不用于希望自身。如：「あなたは優秀な学生であつてくれ」（希望你是个优秀学生）。

④⑤ 「治つてよかった（ね）」：治好了，这太好啦！「よかった」的原形是「よい」，但在这里不是表示过去时态，而是一种表示情貌的特殊用法。「动词连用形＋てよかった」这种句型表达担心的事情或状况有了好的变化，结果时，产生的一种安心的情绪，含有「多亏……了」的意思。如：「自動車にぶつからなくてよかったですね」（差点儿叫汽车撞上，真万幸！）「今日、雨が降らなくてよかったね」（今天没下雨，太好了）。

参 考 译 文

弟弟的烫伤

这件事发生在日吉神社祭祀日的早晨。那天天气非常好。弟弟在玩布的小狗，妈妈

做着大酱汤。

七点来钟，妈妈喊我们：「吃饭啦！」

我去端来了饭锅，然后想把锅放在地板上，就对弟弟说：「躲开！」弟弟要向后退时，一下子踩翻了脚边的酱汤锅，把脚严重地烫伤了。

「妈妈，痛呀！」弟弟放声哭喊起来。我被这意外的事故吓得呆住了，经爸爸提醒，我跑到石川药房，可是那里没有烫伤药。我懊恼极了。

弟弟由妈妈背到附近的医院去了。我止不住哭了起来。饭桌上还摆着三碗大酱汤。一看到这情景，一种内疚的感觉便油然而生，心里十分难受。

到了学校里，心里还是不踏实。既牵挂着弟弟的伤，又因为自己的缘故，弄得全家都不能去参加祭祀而感到悲伤。这都怪自己。

放学回来，由于不安心里很郁闷。走到家门口，不由得呆呆站住了。「弟弟回来了吗？说不定还没回来吧。」心里这样嘀咕着，不敢去开门。但是，我还是一狠心把门打开了，说道：「我回来啦。」

「你回来啦。」应声回答我的是弟弟的声音。我的黑洞洞的心「啪」地一下子亮了。我情不自禁地喊道：「洋洋」！弟弟用绷带裹着的脚。「对不起。」我说。弟弟听

了，用力点了点头。我的心里轻松极了。

但是，弟弟还必须到远处的医院去住院，他们是临时回来准备东西的。我的心又罩上了阴影。

妈妈不在家的生活开始了。对于我来说，代替妈妈干家务活是很吃力的。尽管如此，因为盼望着弟弟归来，所以在妈妈不在家期间，我还是坚持和爸爸轮流着操持家务。

过了几天，妈给爸爸来了信。信上说，弟弟的伤在顺利好转。「洋洋，加把劲儿啊！」我怀着祝福似的心情自言自语地说。

过了十来天，我带着妹妹去医院看弟弟。半路上，我快要晕车了，但是忍住了。我们到了医院，见到弟弟用烫伤的脚迈着小步走路，样子很健康。我的心放了下来。那天，我跟妈妈一起去买东西，又和弟弟一起玩耍，一直到傍晚还不想回家。但是已经走不行了。弟弟和妈妈把我们送到大门口，向我们挥手。

又过起了那种辛劳的生活。做饭、洗衣、扫除，这都是一些很繁重的工作。这使我深深地意识到，就是妈妈回来以后，我也应该帮助她干活。

弟弟住了三个来星期医院，好容易出院了。他回来以后，妈妈还是细心地照料他。

我也想应该干点儿什么，但我什么也不会。我只有祈求弟弟的伤早日痊愈。

「洋洋，对不起。」在我上次这样向弟弟道歉的时候，我曾经希望他的烫伤是个梦就好了。但我现在和那时的心情不同。我盼望着能够早一天对弟弟说：「洋洋，伤治好了，太好啦！」

荀春生 译注

パン

日本にはじめてパンが伝えられたのは①、今から四百年ほど②前のことでした。その頃まで③の日本人は「外国人」といえば④朝鮮人か⑤中国人ぐらいしか知りませんでした⑥。その頃になつてはじめてヨーロッパの国の人々が日本へやつて来ました⑦。

パンはそのヨーロッパから来たポルトガル人が伝えたものの⑧です。

ところが、その頃の日本には、パンの原料になる小麦がなかったので、日本人はパンをつくることができませんでした。

それから三百年ほどあとの明治時代⑨になつてからは⑩いろいろな国から沢山の外国人が日本へ来るようになって⑪、パンを売る店もぼつぼつできて来ました⑫。けれども、その頃でもまだパンで食事をする日本人はほとんどありませんでした。それからしばらくたってから、朝はパンと牛乳、昼と夜は御飯というように⑬、一日に一回